

マーケットの動き（2026年9月28日～10月2日）

先週の国内株式市場は、前週末比で日経平均株価は上昇した一方、TOPIXは下落しました。週前半は、米国債利回りの上昇や原油高に加え、配当権利落ちの影響が重しとなり、下落する場面がありました。その後は、米国の半導体関連企業の好決算を受けて投資家心理が改善し、AI・半導体関連銘柄を中心に買いが広がりました。日経平均株価は10月1日に約1カ月半ぶりとなる6万8,000円台を回復しましたが、割安株を中心に軟調な動きもみられ、TOPIXは週間では下落しました。

投資環境見通し（2026年9月）

国内株式相場は底堅く推移

企業業績についてはAI関連企業を中心として、幅広い業種で比較的高い増益率を維持しています。長期金利のさらなる上昇が警戒される中、AI関連銘柄の競争激化に対する懸念は根強く、国内株式相場の変動率が高まる場面も予想されます。しかし、年度後半に向けた企業業績の安心感を背景に底堅く推移するとみています。

	10月2日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	4,091.00	▲0.91%	0.23%	13.27%	32.51%
日経平均株価	68,309.46	2.93%	6.19%	30.20%	52.01%

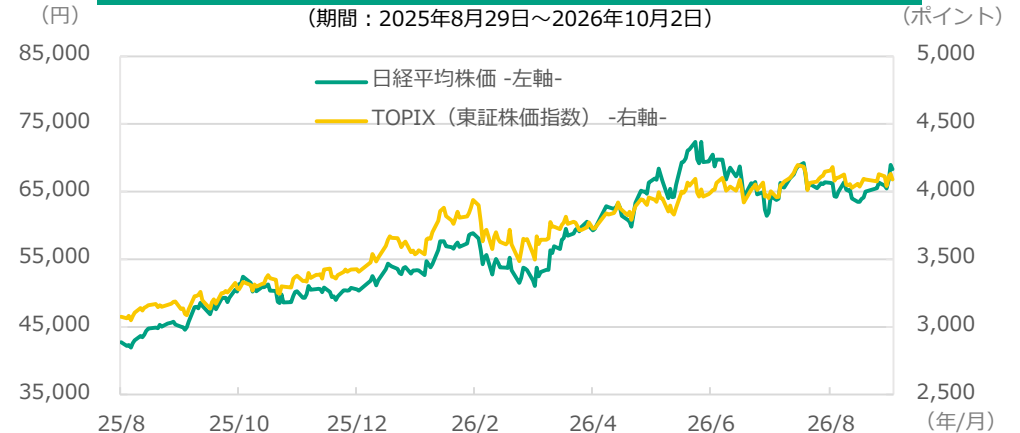
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202609_outlook.pdf

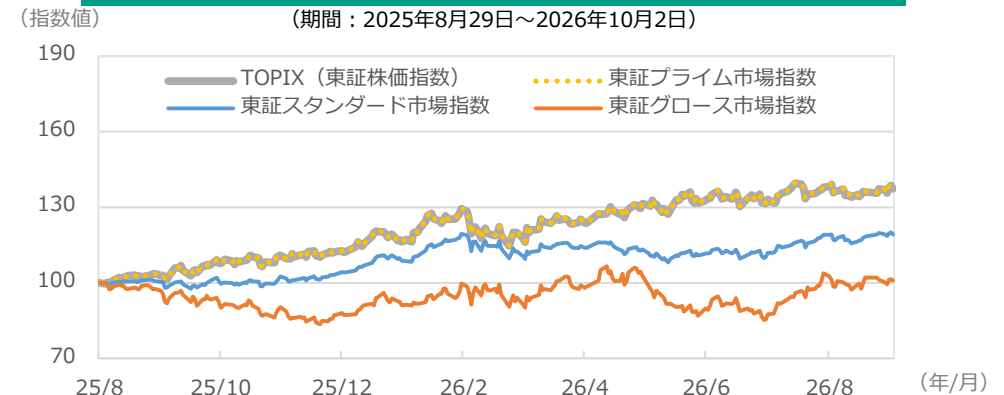
日経平均株価、TOPIXの推移

（期間：2025年8月29日～2026年10月2日）



東証市場別指数の推移

（期間：2025年8月29日～2026年10月2日）



※2025年8月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>